

**KAWAI****2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）**

2023年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所  
 コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(氏名) 河合 弘隆  
 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1226  
 配当支払開始予定日 2023年6月28日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	87,771	2.4	5,045	△24.6	5,639	△22.8	3,672	△27.2
2022年3月期	85,703	26.9	6,696	91.7	7,304	82.5	5,046	95.6

(注) 包括利益 2023年3月期 5,546百万円 (△9.7%) 2022年3月期 6,145百万円 (128.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	427.33	—	10.3	8.1	5.7
2022年3月期	587.17	—	16.5	11.3	7.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 15百万円 2022年3月期 4百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	70,818	38,461	54.0	4,451.73
2022年3月期	68,391	33,559	48.8	3,884.27

(参考) 自己資本 2023年3月期 38,261百万円 2022年3月期 33,384百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△613	△1,364	△2,267	17,975
2022年3月期	5,082	△877	△1,800	21,489

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	644	12.8	2.1
2023年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00	734	20.0	2.1
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00		20.3	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※配当予想の修正につきましては、本日公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,800	△0.5	1,900	△22.0	1,850	△35.4	1,200	△32.2	139.62
通期	89,000	1.4	5,500	9.0	5,400	△4.2	3,600	△2.0	418.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	9,011,560株	2022年3月期	9,011,560株
2023年3月期	416,813株	2022年3月期	416,714株
2023年3月期	8,594,782株	2022年3月期	8,594,885株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	62,388	5.1	1,524	△31.4	3,242	△12.3	2,399	△15.3
2022年3月期	59,359	22.4	2,222	159.8	3,697	145.8	2,834	186.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	279.13	—
2022年3月期	329.74	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	46,293	18,113	39.1	2,107.54
2022年3月期	47,396	16,310	34.4	1,897.66

(参考) 自己資本 2023年3月期 18,113百万円 2022年3月期 16,310百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、資源価格高騰や急速な円安による物価上昇のため消費者マインドの悪化、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等もあり、穏やかな回復基調は維持しております。

また世界経済は、ウクライナ危機の長期化や世界的な金融引き締めによる経済活動停滞の影響など不安定な国際情勢により、先行きは不透明となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」（2023年3月期から2025年3月期）を策定、新型コロナウイルスの影響で大きく変化した事業環境で堅実に成長する為に、「顧客接点の進化」「需要拡大領域の強化」「コスト増への対応」の3つの戦略に重点的に取り組んでおります。

商品政策としては、これまでコンクール・コンサート専用モデルとして展開してきたShigeru Kawai フルコンサートピアノ『SK-EX』の国内販売を昨年10月に開始しました。また需要が拡大する電子ピアノはラインナップを一新し、木製鍵盤や響板スピーカーなどを搭載したハイスペックモデル『CA901』『CA701』、スタンダードモデル『CN301』『CN201』、ポータブルモデル『ES120』をそれぞれ発売いたしました。昨年10月にはミニピアノが『楽器店大賞2022』において「話題の楽器部門」で大賞を受賞いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 87,771百万円（前期比 2,067百万円増）、営業利益は 5,045百万円（前期比 1,650百万円減益）、経常利益は 5,639百万円（前期比 1,665百万円減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は 3,672百万円（前期比は 1,373百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

なお、連結子会社の株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、当連結会計年度から、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。そのため、前年同期比較については、前連結会計年度の数値を当該変更後の数値と比較しております。

#### （楽器教育事業）

楽器教育事業は、鍵盤楽器の販売において『Shigeru Kawai』をはじめとする高付加価値商品の販売が世界各地で好調に推移し、為替影響による売上押し上げ効果もありました。また音楽教室や体育教室においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める中、生徒募集やイベント開催などに取り組みました。これらの結果、売上高は 72,927百万円（前期比 3,573百万円増）となり、為替環境の変化や材料費の高騰などにより営業利益は 3,857百万円（前期比 988百万円減益）となりました。

#### （素材加工事業）

素材加工事業は、供給先の生産調整により半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどもあり、売上高は 10,450百万円（前期比 616百万円減）となり、営業利益は 1,166百万円（前期比 615百万円減益）となりました。

#### （その他）

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受注減少などにより、売上高は 4,394百万円（前期比 889百万円減）となり、販売効率の改善などにより営業利益は 143百万円（前期比 27百万円増益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の流動資産は、為替影響による棚卸資産の増加などにより 48,687百万円（前期末比 2,251百万円増）となり、固定資産は 22,130百万円（前期末比 175百万円増）となりました。資産合計は 70,818百万円（前期末比 2,427百万円増）となりました。

## (負債)

当連結会計年度末の流動負債は、未払法人税等の減少などにより 19,357百万円（前期末比 1,214百万円減）となりました。また固定負債は、長期借入金と退職給付に係る負債の減少などにより 12,999百万円（前期末比 1,259百万円減）となり、負債合計は 32,357百万円（前期末比 2,474百万円減）となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は 38,461百万円（前期末比 4,901百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の増加及び為替換算調整勘定の増加などによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比べ 3,514百万円減少し 17,975百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益 5,612百万円でしたが、棚卸資産の増加による 4,211百万円の減少、法人税等の支払額 2,811百万円などにより 613百万円の資金減少（前年同期は 5,082百万円の資金増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 1,221百万円、無形固定資産の取得による支出 184百万円などにより 1,364百万円の資金減少（前年同期は 877百万円の資金減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出 987百万円、株主配当金の支払による支出 642百万円などにより 2,267百万円の資金減少（前年同期は 1,800百万円の資金減少）となりました。

## キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	49.5%	45.8%	48.8%	54.0%
時価ベースの自己資本比率	40.2%	49.6%	41.1%	37.0%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	3.8年	2.3年	2.0年	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	37.1	64.4	65.9	—

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(注5) 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しや世界経済の先行き、当社グループを取り巻く経営環境については、ウクライナ危機の長期化や世界的な金融引き締めによる経済活動停滞の影響など不安定な国際情勢により、非常に不透明な状況となっております。

こうした中、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」に基づき、長期ビジョンとして『100年ブランド』の確立を掲げ、100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ってまいります。

以上に基づき、翌連結会計年度（2024年度3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高 89,000百万円（前期比 1.4%増）、営業利益5,500百万円（前期比 9.0%増）、経常利益は為替変動の影響もあり 5,400百万円（前期比 4.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 3,600百万円（前期比 2.0%減）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1 US\$=133円、1 ユーロ=146円、1元=19.4円を想定しております。

また、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、各事業年度の業績とともに今後の経営環境並びに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、連結業績の内容に応じて、株主各位への安定的な配当を目的とした株主還元を行うことを基本方針としております。

剰余金の配当につきましては、中間配当制度を設けていますが、経営基盤の安定化を考慮し、現在は期末配当のみの年1回を基本方針としております。剰余金の配当の決定機関については、株主総会の決議とともに取締役会の決議によっても行う旨を定款で定めておりますが、期末配当金については定時株主総会の決議により決定することを原則としております。

上記の方針を踏まえて、当期につきましては1株当たりの期末配当金は 85円00銭を予定しております。

次期の配当金につきましては、1株当たりの期末配当金 85円00銭を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,659	19,315
受取手形	656	569
売掛金	8,829	9,087
商品及び製品	6,483	9,617
仕掛品	1,738	1,781
原材料及び貯蔵品	4,157	6,068
その他	2,068	2,424
貸倒引当金	△157	△177
流動資産合計	46,436	48,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,774	18,320
減価償却累計額	△13,666	△14,214
建物及び構築物（純額）	4,107	4,106
機械装置及び運搬具	13,597	14,137
減価償却累計額	△11,818	△12,384
機械装置及び運搬具（純額）	1,779	1,752
土地	6,354	6,388
建設仮勘定	126	175
その他	7,048	7,672
減価償却累計額	△6,084	△6,560
その他（純額）	963	1,112
有形固定資産合計	13,331	13,535
無形固定資産	636	610
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,339
繰延税金資産	1,235	1,142
その他	1,589	1,671
貸倒引当金	△152	△168
投資その他の資産合計	7,986	7,984
固定資産合計	21,955	22,130
資産合計	68,391	70,818



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,717	6,655
短期借入金	5,895	5,217
未払金	2,370	2,320
未払法人税等	1,770	904
賞与引当金	968	942
製品保証引当金	171	215
その他	3,679	3,101
流動負債合計	20,572	19,357
固定負債		
長期借入金	4,396	3,709
繰延税金負債	1	1
環境対策引当金	5	4
株式報酬引当金	—	15
退職給付に係る負債	8,829	8,117
資産除去債務	594	592
その他	431	559
固定負債合計	14,259	12,999
負債合計	34,831	32,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,282
利益剰余金	24,895	27,923
自己株式	△964	△989
株主資本合計	32,311	35,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	410
為替換算調整勘定	876	2,573
退職給付に係る調整累計額	△165	△62
その他の包括利益累計額合計	1,072	2,921
非支配株主持分	174	199
純資産合計	33,559	38,461
負債純資産合計	68,391	70,818

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	85,703	87,771
売上原価	62,220	64,956
売上総利益	23,482	22,815
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,701	3,639
貸倒引当金繰入額	△4	42
給料手当及び賞与	5,454	5,760
賞与引当金繰入額	453	458
退職給付費用	438	399
その他	6,743	7,470
販売費及び一般管理費合計	16,786	17,769
営業利益	6,696	5,045
営業外収益		
受取利息	68	83
受取配当金	69	79
固定資産賃貸料	42	51
持分法による投資利益	4	15
為替差益	513	461
その他	101	127
営業外収益合計	800	818
営業外費用		
支払利息	80	85
手形売却損	23	21
寄付金	30	32
その他	57	85
営業外費用合計	191	225
経常利益	7,304	5,639
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	32	—
特別利益合計	32	0
特別損失		
固定資産除却損	23	27
特別損失合計	23	27
税金等調整前当期純利益	7,314	5,612
法人税、住民税及び事業税	2,241	1,841
法人税等調整額	△13	81
法人税等合計	2,228	1,923
当期純利益	5,085	3,688
非支配株主に帰属する当期純利益	39	16
親会社株主に帰属する当期純利益	5,046	3,672

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	5,085	3,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△449	48
為替換算調整勘定	1,422	1,711
退職給付に係る調整額	97	103
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△5
その他の包括利益合計	1,059	1,857
包括利益	6,145	5,546
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,087	5,521
非支配株主に係る包括利益	57	25

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	20,369	△963	27,786
会計方針の変更による累積的影響額			△47		△47
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,122	1,257	20,321	△963	27,738
当期変動額					
剰余金の配当			△472		△472
親会社株主に帰属する当期純利益			5,046		5,046
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	4,573	△0	4,573
当期末残高	7,122	1,257	24,895	△964	32,311

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	811	△517	△262	31	116	27,934
会計方針の変更による累積的影響額						△47
会計方針の変更を反映した当期首残高	811	△517	△262	31	116	27,886
当期変動額						
剰余金の配当						△472
親会社株主に帰属する当期純利益						5,046
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△449	1,393	96	1,041	57	1,099
当期変動額合計	△449	1,393	96	1,041	57	5,672
当期末残高	361	876	△165	1,072	174	33,559

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	24,895	△964	32,311
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,122	1,257	24,895	△964	32,311
当期変動額					
剰余金の配当			△644		△644
親会社株主に帰属する当期純利益			3,672		3,672
自己株式の取得				△129	△129
自己株式の処分		25		104	129
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	25	3,028	△25	3,027
当期末残高	7,122	1,282	27,923	△989	35,339

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	361	876	△165	1,072	174	33,559
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	361	876	△165	1,072	174	33,559
当期変動額						
剰余金の配当						△644
親会社株主に帰属する当期純利益						3,672
自己株式の取得						△129
自己株式の処分						129
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	48	1,696	103	1,848	25	1,874
当期変動額合計	48	1,696	103	1,848	25	4,901
当期末残高	410	2,573	△62	2,921	199	38,461

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	7,314	5,612
減価償却費	1,527	1,650
長期前払費用償却額	14	15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△285	△672
受取利息及び受取配当金	△137	△163
支払利息	80	85
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△15
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	23	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,326	273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,458	△4,211
仕入債務の増減額 (△は減少)	754	376
未払退職金の増減額 (△は減少)	150	6
その他	661	△795
小計	6,295	2,198
法人税等の支払額	△1,212	△2,811
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,082	△613
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	29	△106
有形固定資産の取得による支出	△899	△1,221
有形固定資産の売却による収入	22	15
無形固定資産の取得による支出	△154	△184
有形固定資産の除却による支出	△6	△47
投資有価証券の売却及び償還による収入	20	42
利息及び配当金の受取額	139	165
長期前払費用の取得による支出	△15	△20
その他	△12	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877	△1,364
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△337	△377
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△915	△987
配当金の支払額	△471	△642
リース債務の返済による支出	△86	△165
自己株式の売却による収入	—	129
自己株式の取得による支出	△0	△129
利息の支払額	△77	△82
その他	△12	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,800	△2,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	667	731
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,072	△3,514
現金及び現金同等物の期首残高	18,417	21,489
現金及び現金同等物の期末残高	21,489	17,975

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、常務会等で経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは『基幹事業（楽器・音楽教室）』の成長を中心として、100年ブランドの確立を目指すため、国内では地域ユニット体制による収益力の強化を深化させ、また中国でも中長期的な成長に向け、楽器販売、音楽教室、調律の三位一体体制での事業推進により企業価値の向上を図ってまいります。こうした経営環境を背景に、マネジメントアプローチの考え方に基づき、「楽器教育事業」、「素材加工事業」を報告セグメントとしております。

「楽器教育事業」は、楽器の製造販売及び楽器の調律・修理及び音楽教室・体育教室の運営、教材・楽譜・音楽教育用ソフト・銑鉄鋳物の製造、販売をしております。「素材加工事業」は、電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材の製造及び販売をしております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、これらの変更を反映し作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理と同一の方法によっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	69,353	11,066	80,419	5,283	85,703	—	85,703
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	1	4	380	384	△384	—
計	69,356	11,068	80,424	5,664	86,088	△384	85,703
セグメント利益	4,845	1,782	6,627	115	6,743	△47	6,696
セグメント資産	42,543	8,432	50,975	3,253	54,229	14,162	68,391
その他の項目							
減価償却費	1,067	358	1,426	8	1,434	93	1,527
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	962	200	1,163	3	1,167	98	1,266

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,927	10,450	83,377	4,394	87,771	—	87,771
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	3	6	129	136	△136	—
計	72,930	10,453	83,384	4,523	87,907	△136	87,771
セグメント利益	3,857	1,166	5,024	143	5,167	△121	5,045
セグメント資産	47,550	8,688	56,238	2,501	58,739	12,078	70,818
その他の項目							
減価償却費	1,188	352	1,540	6	1,547	103	1,650
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,331	207	1,539	48	1,587	68	1,656

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	33	△36
全社費用※	△81	△84
合計	△47	△121

※ 全社費用は、主に特定セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△1,991	△1,999
全社資産※	16,154	14,077
合計	14,162	12,078

※ 全社資産は、主に提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	3,884.27円	4,451.73円
1株当たり当期純利益	587.17円	427.33円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 取締役に対する株式報酬制度にかかる信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行株式総数から控除する自己株式に含めております（当連結会計年度 45千株）。  
また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（当連結会計年度 30千株）。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	5,046	3,672
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	5,046	3,672
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,594	8,594

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	33,559	38,461
純資産の部の合計額から控除する金額 （百万円）	174	199
（うち非支配株主持分（百万円））	(174)	(199)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	33,384	38,261
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	8,594	8,594